

## 講演会「災害に備える地域づくり～日頃の見守り、支え合い活動を通じて～」 実施報告

### 1 日時

令和5年2月1日（水）

### 2 場所

流山市文化会館 市民会館ホール

### 3 講師

福祉防災コミュニティ協会 副理事長  
高橋 洋 氏

### 4 参加人数

一般市民、自治会関係者、自主防災組織リーダー、民生委員・児童委員、福祉  
専門職 等 107名

### 5 講演会概要

地域福祉と地域防災を  
考える機会として、流山  
市文化会館で講演会「災  
害に備える地域づくり～  
日頃の見守り、支え合い  
活動を通じて～」が開催  
されました。

講師には、福祉防災コ  
ミュニティ協会副理事長  
高橋 洋氏をお招きし、

一般市民の方をはじめ、自治会関係者、自主防災組織リーダー、民生委員・児  
童委員、福祉専門職の方など、107名が参加されました。



講師の高橋先生からは、「災害時に「助かる」「助ける」には、まず地域の危  
険性を知ることが必要であり、「自助」「近助」「共助」「公助」といった観点か  
ら、誰が誰を、どうやって助けるのかといった準備をしておくことが重要です。  
避難する力が弱い人については、本人や家族、近所、ケアマネジャー、民生委  
員、介護事業所など関係者がどのようにして助けるかを事前に話し合い、個別



避難の計画を立てましょう。福祉サービスを行う事業所にはBCPが義務付けられており、地域などと協力する努力が始まったところです。行政の作成する要支援者名簿の活用、本人や家族、近所などとの「自助」「近助」「共助」、福祉事業者との関係性、みんなで考える個別

避難計画といった、災害時に役立つ「人・物・事」を着実に用意していきましょう。」といったお話をいただきました。

質疑応答では、聴覚障害者の方から、避難所でのコミュニケーションについてご質問いただきました。避難所への手話通訳派遣は、非常時では間に合わないことが想定されますが、高橋先生から、筆談道具などを避難所に揃えておくことや、地域であらかじめ聴覚障害者の方などが避難することを想定した訓練をしておくこと、また暗闇でのコミュニケーションについてはスマートフォンが活用できることをご回答いただきました。



参加者からは、「聴覚障害者の方のことは考えもしなかったので、とても勉強になりました。」「地域支え合いの名簿の方は、災害時にも目をかけてあげなければいけないと改めて気づかされました。」等の感想が寄せられました。※市では「流山市地域支え合い活動」として自治会と協定を結び、災害時の要支援者の名簿を提供しています。まだ協定を結んでいない自治会の皆様には、取り組みへのご理解とご協力をお願いいたします。